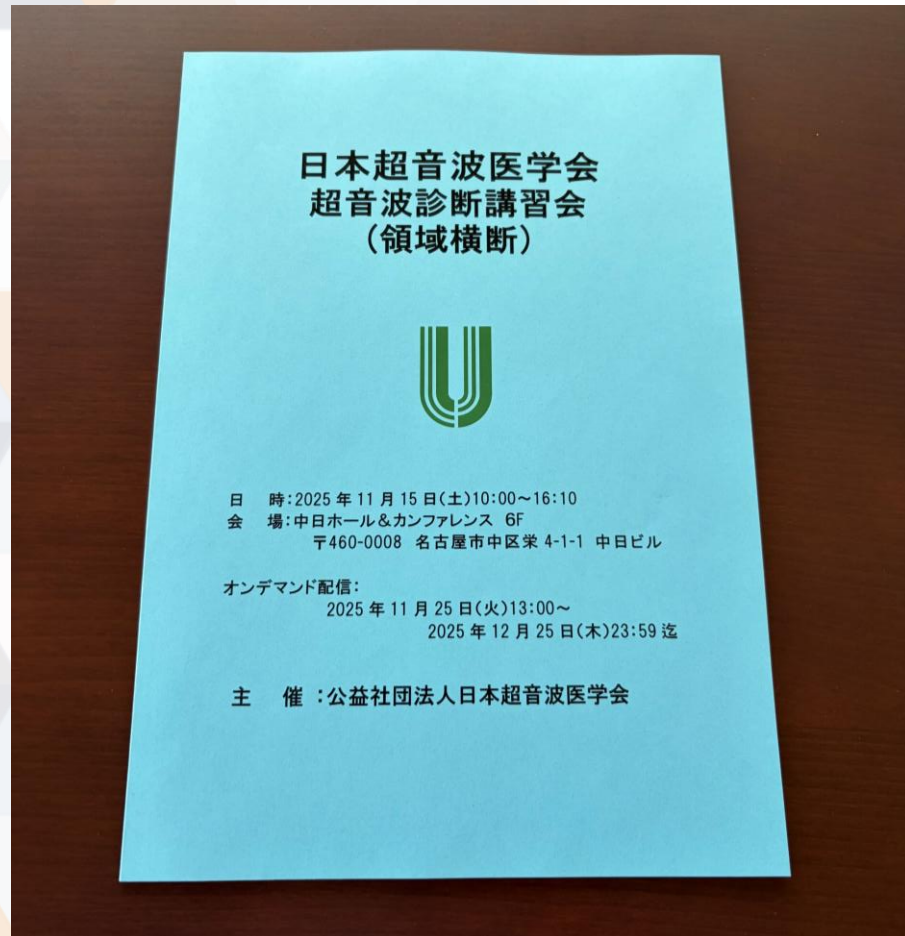


2025年11月15日（土） 日本超音波医学会「超音波診断講習会（領域横断）」に講師として参加いたしました（尾島）



非常に勉強になる講習会テキスト

### お誘いのメールに記載されていた文章（抜粋）

超音波医学に携わる医療従事者への生涯教育の一環として、超音波医学の基本的事項から最新の知識までを習得できる講義を行う超音波診断講習会を開催しております。

今回のテーマは「**超音波画像と病理組織像の対比**」です。

超音波診断では、特定の疾患に関して特徴的な超音波像を見出すことで診断を確定する場面がしばしばあります。疾患によっては、その所見をもとに診断基準や診断ガイドラインが作成されているものもあります。これらの特徴的な超音波所見はその疾患や病態において共通した病理所見を見ている可能性があるため、今回、全身各領域の疾患について、超音波像と病理像を対比し、超音波診断の精度をより高めるべく講習会を開催することになりました。・・・

まさに診断学の本質と思いました。素晴らしい講習会と思い、すぐにお受けさせていただきました（尾島）



2025年11月15日（土） 日本超音波医学会「超音波診断講習会（領域横断）」に講師として参加いたしました（尾島）

大きな会場で講演させていただきました  
（オンデマンドでの受講が主体とのこと）



肝臓における早期静脈還流を深掘りしました。講演前は、内容的に少し深掘りし過ぎたか？と心配しましたが、会場の聴講者の皆様が大変熱心で、安心しました。  
（尾島）

そろそろ、スライドの表紙を変えないと、



当日は快晴でした！  
（会場からの風景）





2025年11月15日（土）

日本超音波医学会「超音波診断講習会（領域横断）」に講師として参加いたしました（尾島）



### 市原真先生（旭川医科大学病院 病理部准教授）と記念撮影

今回の講習会の当番世話人のおひとり。

この会における、“画像と病理の対比”の仕掛け人と（勝手に）思っています。当日は、私の講演の座長だけでなく、他のセッションの病理講師をいくつもお務めになり、名実ともに屋台骨となって講習会をお支えになっていると感じました。

2007年に、当時私が在籍していた国立がん研究センターに国内留学され、一緒に画像と病理の対比をしていた仲間でもあります。市原先生は、この領域でオピニオンリーダーとなられ、さらに、病理に関する発信力もお持ちで、私は尊敬しています。

引き続き、よろしくお願いいたします！（尾島）

なお、今回の講習会は、オンデマンドで聴講できます。

[https://www.jsom.or.jp/members/conference/shindan\\_oudan\\_2025/](https://www.jsom.or.jp/members/conference/shindan_oudan_2025/)

（オンデマンドは11月25日（火）13：00～12月25日（木）23：59まで）